

新

令和元年度 愛知教育大学附属岡崎中学校

読書だより

「うーいーば、2週間前、人生初の尿管を穿通した。エキサイティングな経験だ。」

モリモリ書店

第30話 R01.09.12(月)
「何の役に立つのか
よりも大事なものの。」

★今回、紹介する本は、『キリン解剖記』（著/郡司芽久、出版/ナツメ社）です。

小さい頃からキリンが好きで、大学でキリンの研究を始め、現在にいたるまで、30体以上のキリンを解剖し、さまざまな発見をしてきた若い女性研究者が語った1冊。

郡司さんは、大学に入ったとき、「キリンの研究者になりたい」と夢をもちます。しかし、キリンの研究なんてやっているところはなく、とりあえず生物学を勉強してから考えようと思うことに…。

そんなとき、一人の先生との出会いをきっかけに、キリンの解剖に関わっていくことに。郡司さんは、キリンを解剖する尊さと美しさにひかれながら、一体一体のキリンとしっかり向き合っていきます。語り口が非常にユーモラスで、楽しく、そして、わかりやすく読ませてくれます。自分の好きなことに一生懸命取り組み、日々学び続けようとする姿勢がすてきです。附中の追究につながる要素を感じました。



誰かが手を差し伸べてくれたり、道をセカリ拓いてくれるのを待っていても何も起きない。(p.208)

今確かに幸せだと思えるのは、子供の頃のままで大人になれたからに違いない。(p.194)

キリンサヨも、そうではない人も。

